延岡の大人はみな子どもたちの先生
延岡市キャリア教育支援センター

「よのなか教室」通信

延岡市キャリア教育支援センター通信 88 号　令和６年 11 月 20 日（水）

文責 / 酒井　康行

※岡富小学校の４年生と５年生は、本年度３回の「よのなか教室」を計画しています。
今回は、その１回目の「よのなか教室」についてご紹介します。

岡富小学校（4 年生・82 名）よのなか教室「川ってなんだろう？」

令和6年9月11日(水)　10:05~10:50

【山田　大志さん】

岡富小学校の４年生が、ふるさと延岡の川についてお話を聞きました。**講師は、山田　大志さん（リバーパル五ヶ瀬川・館長）**です。

山田さんは、近くを流れる五ヶ瀬川や川と人々の暮らしについて詳しく説明してくださいました。「川ってなんだろう」「川には、どんな生き物がいるのだろう」「なぜ五ヶ瀬川という名前がついたのだろう」など、子どもたちに質問を交えて説明されましたが、子どもたちも川に対する関心が高いようで、質問に積極的に答えていました。川に生息する魚や植物などについては、動画や写真を用いて説明していただきました。自分たちが知っている魚や鳥をはじめ小さな生き物が写真で映されると、子どもたちは、歓声をあげて映像に見入っていました。

【講話の様子】

また、川の水を汚さないためにはどんなことに気を付ければよいか、川にすむ生き物をどのように守ればよいのかなど、川の環境を守るために私たちができることについても考えることができたのは、子どもたちにとって貴重な学びの時間になりました。

山田さんは、最後に子どもたちへのメッセージとして、「努力してもすぐにできるとは限らないし、失敗もたくさんする。でも、諦めずに継続して頑張ってほしい。努力は 5 年後、10 年後に成果として表れる。主人公は自分、自分の人生をしっかり生きていってほしい。」と話され、子どもたちにとって大きな力になりました。

岡富小学校（5 年生・73 名）　よのなか教室「働くとは・・お菓子作りを通して」

令和6年9月18日(水)　11:55~12:40

【二見　記央さん】

岡富小学校の５年生が、キャリア教育の一環で、**二見　記央さん（ロリエニ見・オーナーパティシエ）**にお話をしていただきました。

子どもたちは、大好きなお菓子やケーキ作りについての内容だったので楽しみにしていたようです。

二見さんは、初めに、なぜ、お菓子作りの職人になったのか、職人になるためにどのような修行をしたのかなどについて話してくださいました。また、お店を始めた頃は全然売れなくて、「どうしたら売れるようになるだろう」と悩んだこともあったと伝えてくださいました。

次に、映像を見ながら、いろいろなケーキの紹介をしてくださいました。中でも、ウエディングケーキの紹介があった時は、その写真を見て子どもたちは歓声をあげていました。外国のお店の様子やお菓子についても写真で紹介してくださったのでとても参考になりました。

【講話の様子】

二見さんは、ユーチューブでもお菓子作りのレシピなどを発信されているそうです。そのお話を聞いて、子どもたちは、「実際にお菓子を作ってみたい」とお菓子作りへの関心が高まったようです。

子どもたちから、「お菓子作りのやりがいは何ですか？」という質問に対して、「おいしいと言ってもらえるのが一番嬉しい。」と笑顔で答えておられました。そして、「夢はいっぱいもったほうがよい。挫折や失敗はたくさんあるけれど、そこからどうするかが大事です。」と子どもたちにメッセージを送られていました。

～お礼の手紙より～

先日は、いろいろなことを教えて下さり、ありがとうございました。二見さんは、最初「どんなに挫折してもまた違うことをさがす。挫折が大切。」と言いました。私も将来、挫折を体験すると思います。その時は、二見さんが言っていたことを思い出してみようと思います。＜中略＞今日は、将来のことやスイーツのことをよく知ることができました。ありがとうございました。

※北浦中学校の１年生が「連続よのなか教室」で８名の方のお話を聞きました。今回は、その中から３名の方の講話をご紹介します。

北浦中学校（1年生・17名）よのなか教室「職業講話」

令和6年7月5日（金）　14:00～14:50

北浦中学校の１年生が、お二人にお話を聞きました。**講師は、柏田　笙磨さん（みなみ総合法律事務所・弁護士）**と**林田　玲奈さん（旭有機材公認ランナー・元ユニクロ陸上部＜長距離＞）**です。

【柏田　笙磨さん】

【林田　玲奈さん】

柏田さんは、弁護士の仕事や弁護士になるために必要な資格などについて説明してくださいました。柏田さんは、高校生になるまで弁護士という仕事を知らなかったそうですが、進路学習でその仕事を知り、夢を叶えるために努力されたそうです。困っている人を助けたり、「ありがとう。」という言葉を掛けてもらったりした時が一番嬉しいと話されていました。講話の最後に「自分に合うか合わないかは、試してみないと分からない。仕事もいろいろと調べたり、体験したりしてみないと分からない。」「熱中できるものを１つ見つけて取り組んでみる。それが大人になった時に活かされる。」と話され、子どもたちにとって、大変参考になりました。

林田さんは、陸上との出会いを通して学んだことや経験したことを話してくださいました。中学３年生の時に進路について迷ったそうですが、可能性を信じて陸上の道に進んだこと、高校、社会人の時の厳しい練習から得られたことなどについて熱心に話してくださいました。走ることが嫌いになったこと、陸上だけが人生ではないという思いに至ったことなど、経験から出てきた言葉は重いものがありました。「きつい時こそ自分の中の弱さに負けない」「苦しいときは思い切って環境を変えることも選択肢の一つ」という言葉が印象的でした。

令和6年9月6日（金）　14:00～14:50

山根　俊輔さん（山根製作所・代表、建築家）は、「今までやってきたこと、学んだことの全て」というテーマで講話をしてくださいました。

山根さんは、延岡駅（エンクロス）の設計を手掛けられたこともあり、子どもたちに「エンクロスがどうしてこんな形になったのか」について説明されました。また、身近な建物を例に、「元々の建物が持っている良さを引き出すことの大切さ」についても話してくださいました。さらに、延岡の町を活性化するために取り組んでいることなども紹介され、難しいと思っていることでもやってみたら意外といける、やってみることが大事だと語られました。

仕事で大切にしていることとして

① **環境や周りを活かす（環境や周りのせいにしない）**
② **「知っている、できる」だけではなく「やっている」ことが大事**
③ **人生の主導権を渡さない**

の３点を挙げられました。

「～に言われるから仕方なくやるではなく自分からやってみること」「自分の人生の選択肢を人任せにしないこと」など、アドバイスを聞いたうえで自分の意志で決めることが大事だということを伝えてくださり、子どもたちにとって、今後の生き方を考える上でとても参考になるお話でした。

【山根　俊輔さん】

【講話の様子】

延岡市キャリア教育支援センター
〒882-0053　宮崎県延岡市幸町３丁目101番地 延岡駅西口街区ビル３階　延岡商工会議所内
電話 0982-33-6666　FAX 0982-33-6682
水永正憲　080-4002-8167　mizmas228@gmail.com
敷石輝幸　080-6410-5539　sate815@ma.wainet.ne.jp
酒井康行　090-2587-7837　y351akre@ma.wainet.ne.jp